KENWOOD

MP3/WMA/AAC対応CDレシーバー

I-K50

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation

Ⓒ B64-4315-00/00 (JW/J0)

目次

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

本書の読みかた 4
安全上のご注意 6
使用上のご注意 8

ここを読めば、ひととおり操作できます。

基本操作 10
共通操作 10
ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く 12

各機能の設定はここから始まりますので、ご覧ください。

ファンクションコントロール 14

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

ラジオを聴く 16
バンド切り替え 16
プリセットチューニング 16
マニュアルチューニング 16
オートメモリー 17
マニュアルメモリー 17
チューニングモード 17
モノラルモード（FM 放送を受信中のみ） 17

ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く 18
ミュージックサーチ（CD、オーディオファイルのみ） 18
ミュージックサーチ（iPod のみ） 18
プレイファンクション 20
iPod コントロールハンドモード（iPod のみ） 20

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

ディスプレイコントロール 21
ディスプレイ選択 21
タイトル / テキストスクロール 21
AUX ネームセット 22
操作パネルの取り外し 22
操作パネルの取り付け 22

オーディオコントロール 23
オーディオコントロール 23
オーディオコントロールの詳細設定 24
オーディオセットアップ 25
サブウーファー出力コントロール 25
オーディオプリセット 26
オーディオプリセットの呼び出し 27

よく使う操作を設定する（FAVORITE コントロール） 28
プリセットメモリー 28
プリセットメモリーの呼び出し 28
プリセットメモリーの消去 29
ネームセット 29

メニュー（MENU） 30
時刻合わせ 30
セキュリティコードの設定 30
セキュリティコードの入力 31
セキュリティコードのクリア 32

リモコンで本機を操作する方法が書いてあります。

リモコン操作 **33**
電池の入れかた 33
共通操作 33
ラジオ 34
CD/ オーディオファイル 34

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

Help? **35**
オーディオファイル 35
iPod について 35
故障かな？と思ったら 35
Help? 用語集 **36**
共通 36
オーディオコントロール 36
メニュー（MENU） 37
Help? エラー表示 **39**

取り付け時のご注意 **40**
接続 **42**
取り付け **44**

仕様一覧 **45**
保証とアフターサービス **46**

時計の調整について

時計の調整は「時刻合わせ」（p30）をご覧ください。

「オーディオファイル」とは？

本書に書かれている「オーディオファイル」とは、USBデバイスやiPod、CD-R/RWに記録されたAAC、MP3、WMAファイルのことです。
詳しくは「オーディオファイル」（p35）をご覧ください。

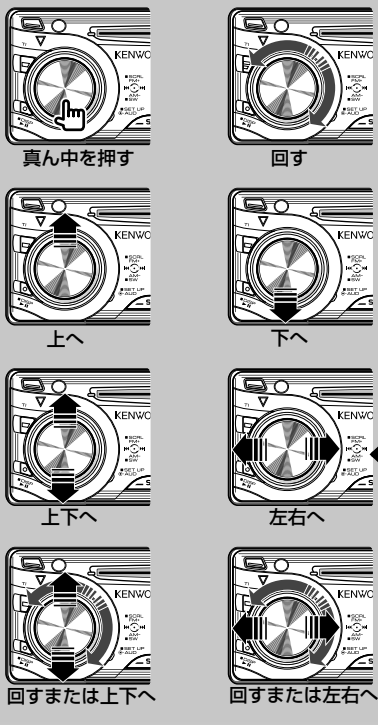
本書の読みかた

この取扱説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

オーディオノブを操作する

ノブの操作を下の図で表します。

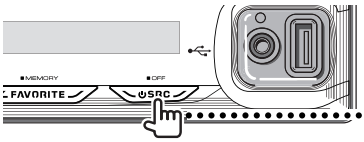


▼：次の段に続きます。
●：ここで終わりです。

AUXネームセット

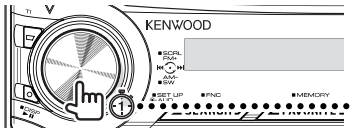
AUXソースに切り替えたときに表示される名前を設定します。

1 AUXソースにします



▶ AUX

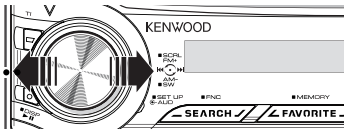
2 ネームセットを開始します



▶ AUX

現在のAUXネームが表示されるまで押し続けます。

3 AUXネームを選択します



オーディオノブを左右に動かすと、次の順で切り替わります。

表示
AUX/AUX EXT
DVD
PORTABLE
GAME
VIDEO
TV

4 SEARCH ボタンを押して終了します

上記の表記例は、実際の操作とは異なります。

短く押す

で示したボタンまたはノブを押します。

ディスプレイ表示

この表示になるまで上の操作を行います。

その他のマーク

ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。

特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。

その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

1秒以上押す

で示したボタンまたはノブを 1 秒（2 秒または 3 秒）以上押します。
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンまたはノブを押し続けることを表しています。
左記では 1 秒間押すことを示しています。
押す秒数は時計の中の表示を目安にしてください。

表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

iPhoneは、Apple Inc.の商標です。

「Made for iPod」とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

「Works with iPhone」とは、iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注 意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

禁 止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

実 施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

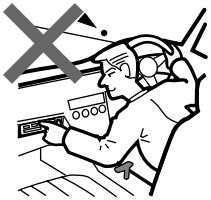
交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

⚠警告

実 施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

● カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入など）



実 施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

実 施

USB デバイスは運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

禁 止

修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。
お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁 止

本製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

⚠注意

禁 止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁 止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁 止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁 止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

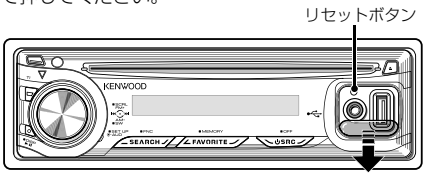
実 施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

使用上のご注意

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、「Help? 故障かな？と思ったら」(p35)および「Help? エラー表示」(p39)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



●

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店または、お近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- ディスクが取り出せない。
- ディスクを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに"AUX EXT"と表示される。
- KCA-S220A、CA-C1AX/CA-C2AXが接続されていないときに"AUX EXT"と表示される。

USBデバイスのご使用上の注意

USBデバイスを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USBデバイスが変形や故障する場合があります。

●

本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。

●

本製品にUSBデバイスは付属されていません。別途、市販品を購入してください。使用できるUSBデバイスについては「オーディオファイル」(p35)を参照してください。

●

使用するUSBケーブルにはCA-U1EX(別売品)をお薦めします。USB規格以外のケーブルを使用した場合やケーブルの総延長が5m以上になった場合は、正常にプレイできない場合があります。

●

USBハブを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーが接続できます。接続できるディスクチェンジャーの機種名はカタログをご覧ください。

●

"O-Nスイッチ"の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは"N"側に設定してください。

●

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

●

別売品のCD/MDスイッチングユニット"KCA-S220A"を使用すると、ディスクチェンジャーなどを合計2台まで接続できます。接続などの詳しい説明は「接続」(p42)および、KCA-S220Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

●

本機およびKCA-S220Aには1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーソースにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、英大文字と数字のみです。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

温度について

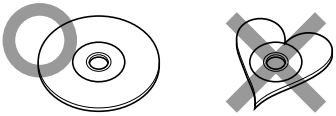
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。
保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

使用できないディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



●

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●

マークの付いていないCDは使用しないでください。
前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

●

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。
取り扱いは記録面に触れないようにしてください。
（レーベルが印刷されていない面が記録面です）

●

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。

●

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

●

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

●

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

●

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

●

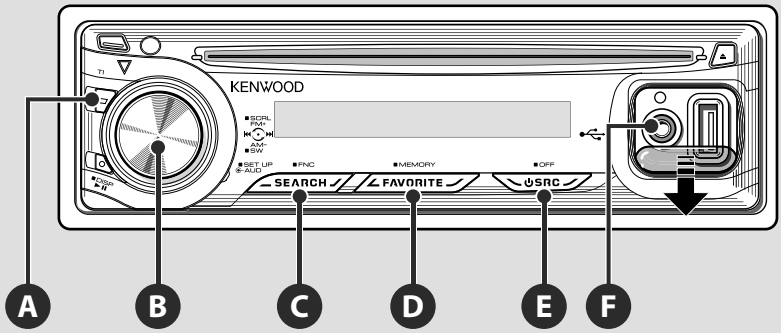
8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

使用できるリモコンについて

本機で使用できるリモコンについては、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

基本操作

共通操作



E 電源をオン/オフします

SRC ボタンEを押すと、電源がオンになります。
1秒以上押し続けると、電源がオフになります。

B 音量を調整します

オーディオノブBを回して調整します。

A 交通情報を聴きます

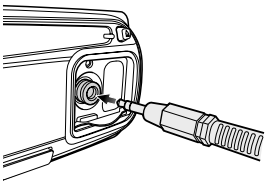
ボタンAを押すと、交通情報を受信します。
もう一度押すと、元のソースに戻ります。

- オーディオノブBを左右に動かすと、交通情報の周波数（522kHz/1620kHz/1629kHz）を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中にオーディオノブBで音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。

注意 安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

E F 外部機器を聴きます

AUX端子Fのカバーを開き、ポータブルオーディオ機器などを、市販のミニプラグケーブル（3.5φ）で接続します。



次に SRC ボタンEを押して“AUX”ソースに切り替えます。

- 接続するミニプラグケーブルは、抵抗の入っていないステレオタイプのものを使用してください。
- AUXソースに切り替えるには、「ファンクションコントロール」(p14)の“AUX”項目を設定する必要があります。

C ファンクションコントロール

SEARCH ボタンEを1秒以上押すと、ファンクションコントロールモードになり、各機能を設定します。操作方法は「ファンクションコントロール」(p14) をご覧ください。

時計の調整について

時計の調整は“MENU”メニューで行います。
詳しくは「時計合わせ」(p30) をご覧ください。

D

FAVORITE（フェイバリット）コントロール

FAVORITE ボタンDで、選択しているソースに関係なくお気に入りの放送局、iPodのプレイリストやアーティストなどを選択する操作手順を、メモリーしたり呼び出します。
操作方法は「よく使う操作を設定する(FAVORITE コントロール)」（p28）をご覧ください。

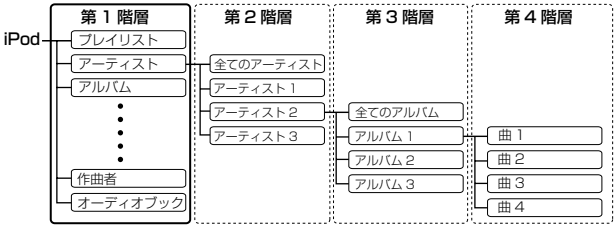
設定できる項目

次の項目が設定できます。

設定項目	
ラジオ	FM/AM放送のプリセット局の呼び出し（p16）
iPod	プレイリスト、アーティストの一覧表示など
オーディオコントロール	オーディオコントロールの設定項目（p23）
MENU（メニュー）	CLOCK ADJUST/DISPLAY/ZONE2/SEEKの設定項目（p15）

iPodの設定について

お好みの第1階層のリストを登録できます。



- 第2階層以下の設定をした場合、FAVORITE登録後にiPod内の曲の追加や削除を行うとiPod内のリストが変更されるため、呼び出すと本機で登録したリストと異なることがあります。iPodの編集を行ったときには、FAVORITE登録をしなおしてください。

E

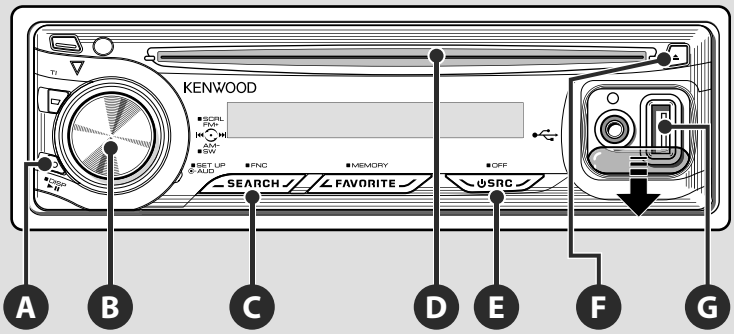
ソースを切り替えます

SRC ボタンEを押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。

TUNER	FM/AM放送を受信します。（p16）
USB (iPod)	USBデバイス内のオーディオファイルをプレイします。（p12、p18）
CD	CDまたはオーディオファイルをプレイします。（p12、p18）
CD CHANGER など	CDチェンジャー（別売品）などのディスクをプレイします。
AUX	内蔵AUXに入力されたサウンドを出力します。
STANDBY	何もプレイされませんが、時計などは表示されます。

- iPodを付属のiPod接続ケーブルで接続していると、“USB”表示は認識後に“iPod”になります。iPodについては「iPodについて」（p35)をご覧ください。
- AUX表示は「AUXネームセット」（p22）で替えることができます。
- ディスクを挿入すると、挿入したメディアがプレイされます。
- USBデバイスを接続すると、接続したデバイスがプレイされます。

ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く



D F

CD/オーディオファイルをプレイします

ディスク挿入口Dにディスクを挿入すると、差し込んだディスクがプレイされます。

ディスクを取り出します

イジェクトボタンFを押します。

- ディスクは水平に差し込んでください。
- 8cmディスクを取り出した後は、ディスク挿入口に放置せず、速やかにケースなどに保管してください。放置しておくと、振動などにより落下する場合があります。
- ディスクが入っているときは **IN** インジケーターが点灯します。
- ディスクがすでに入っているときには、SRCボタンEでCDソースに切り替えるとプレイされます。
- 通常のCDのほかに、オーディオファイルが収録されたCD-R/CD-RWをプレイできます。プレイできるオーディオファイルの種類、フォーマットなどについては、「オーディオファイル」(p35) をご覧ください。
- その他のいろいろなプレイ方法については、「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」(p18) をご覧ください。

A

プレイ/ポーズします

ボタンAを一度押すと、プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

B

早送り/早戻しします

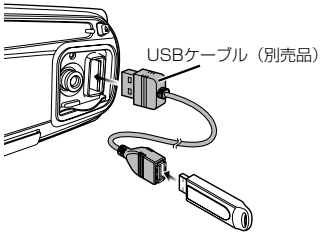
オーディオノブBを右側へ押し続けると、押している間、曲が早送りされます。
オーディオノブBを左側へ押し続けると、押している間、曲が早戻しされます。

- オーディオファイルの早送り/早戻し中には音は出ません。

F G

USBデバイス内のオーディオファイルをプレイします

USB端子Eのカバーを開き、メモリーやiPodなどのUSBデバイスを接続すると、USBデバイスのプレイが始まります。



USBデバイスを取り外します

イジェクトボタンFを2秒以上押してリムーブモードにします。
“USB REMOVE” と表示されたら、USBデバイスを取り外します。

⚠

- リムーブモードにしないでUSBデバイスを取り外すと、USBデバイス内のデータが破損する場合があります。

- USBデバイスがすでに接続されているときには、SRCボタンEでUSB/iPodソースに切り替えるとプレイします。
- iPodの接続は付属のiPod接続ケーブルを使用してください。iPodについては「iPodについて」（p35)をご覧ください。
- USBデバイスを接続していないときに、USBソースにすると、"NO DEVICE"と表示されます。
- プレイをストップしたあとで、再びプレイするとストップした曲からプレイを再開します。USBデバイスを取り外した場合も、USBデバイスの保存内容が変わっていなければ、ストップした曲からプレイを再開します。
- プレイできるオーディオファイルの種類、使用できるUSBデバイスの種類などの詳細については、「オーディオファイル」（p35）をご覧ください。
- 使用できるUSBデバイスの種類や接続方法については、「オーディオファイル」（p35）をご覧ください。
- USBデバイスは、奥まで確実に差し込んでください。
- その他のいろいろなプレイ方法については、「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」（p18）をご覧ください。

B

プレイする曲を選びます

オーディオノブBを右側へ押すと、次の曲がプレイされます。
オーディオノブBを左側へ押すと、プレイ中の曲の先頭/前の曲がプレイされます。

- SEARCHボタンCで曲を素早く探すこともできます。詳しくは「ミュージックサーチ」（p18）をご覧ください。

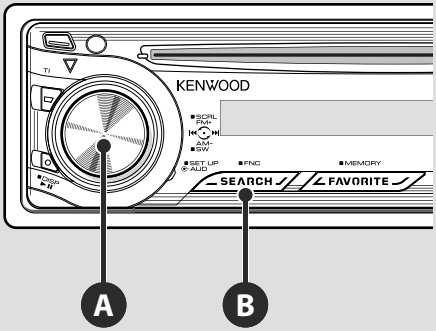
B

プレイするフォルダ/ディスク（ディスクチェンジャー中）を選びます

オーディオノブBを上側へ押すと、次のフォルダ/ディスクの曲がプレイされます。
オーディオノブBを下側へ押すと、前のフォルダ/ディスクの曲がプレイされます。

- iPodは、「ミュージックサーチ（iPodのみ）」（p18）の操作をしたあとに使用できます。

ファンクションコントロール



A B

ファンクションコントロール

1. SEARCHボタンBを1秒以上押して、ファンクションコントロールモードにします。
   “FUNCTION”と表示されるまで押し続けます。

2. オーディオノブAとSEARCHボタンBで設定する項目を選択します。

動作	操作方法
項目を移動する	オーディオノブAを回す。
項目を選択する	オーディオノブAを押す。
前の項目に戻る	SEARCHボタンBを押す。

ファンクションアイテムには、次の項目があります。

表示	操作方法
“AUTO MEMORY”	放送局を自動的にメモリーできます。「オートメモリー」（p17）をご覧ください。
“iPodCTRL”	iPodコントロールモードを設定します。「iPodコントロールハンドモード」（p20）をご覧ください。
“PLAY MODE”	CDやオーディオファイルなどのプレイ方法を設定できます。「プレイファンクション」（p20）をご覧ください。
“MENU”	環境の設定ができます。15ページの表をご覧ください。
“RETURN”	前の項目に戻る。

3. オーディオノブAを回して設定値を選択して、オーディオノブAを押すと決定します。
   “MENU”項目では下記の操作で設定します。
   : オーディオノブAを左右に動かします。
   : オーディオノブAを1秒以上押して設定モードにします。

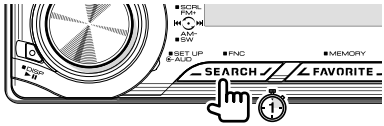
4. SEARCHボタンBを1秒以上押して、ファンクションコントロールモードを終了します。

A B

時計を調整する場合の操作例

“MENU”(メニュー)から“CLOCK ADJUST”項目を選択します。

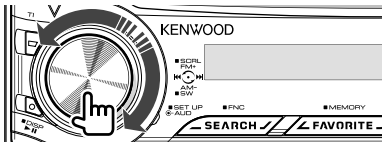
1 ファンクションコントロールモードにします



▶ FUNCTION

“FUNCTION”と表示されるまで押し続けます。

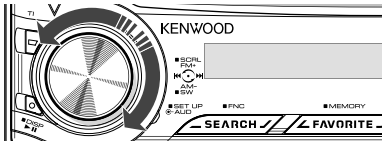
2 “MENU”項目を選択します



▶ MENU

オーディオノブを回して“MENU”を選び、ノブを押して決定します。

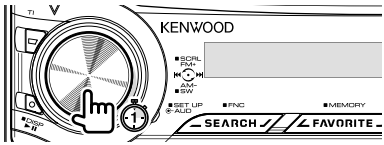
3 “CLOCK ADJUST”項目を選択します



▶ CLOCK ADJUST

オーディオノブを回して“CLOCK ADJUST”を選びます。

4 時刻合わせを開始します



▶ 12:00

オーディオノブを時計表示になるまで押し続けます。時計の調整方法は「時刻合わせ」（p30）をご覧ください。

"MENU"（メニュー）項目で設定する機能は、次の項目があります。

表示	設定	操作	設定概要	ソース	ページ
SECURITY SET/ SECURITY CLR			セキュリティコードの設定と解除をします。	SB	30, 32
SKIP SRCH	0.5%*/ 1%/ 5%/ 10%		「ミュージックサーチ」(p18)でスキップする割合を設定します。	iPod	18, 38
CLOCK ADJUST			時刻を設定します。	—	30
DISPLAY	OFF/ ON*		操作しないときは、表示部を消します。	—	37
DIMMER	OFF/ AUTO*		車両のライトスイッチに連動して表示部を減光するかを設定します。	SB	37
IL EFFECT	OFF/ ON*		本機の操作に連動してイルミネーションの輝度を変えるかを設定します。	SB	—
DOT LINE	OFF/ ON*		ディスプレイの赤いドットラインの表示設定をします。"OFF"にするとドットラインが消灯します。	SB	—
SWPRE	REAR*/ SUB-W		プリアウトの出力を設定します。	SB	38
ZONE2	REAR*/ FRONT		デュアルゾーン機能の内蔵AUX入力音声の出力先を設定します。	2ZONE	38
SUPREME	OFF/ON*		Supreme機能のオン／オフを設定します。	AF	38
SEEK	AUTO1*/ AUTO2/ MANUAL		放送局の選択方法(チューニングモード)を設定します。	Tuner	17, 37
MONO	OFF*/ON		モノラル音声で受信します。	FM	17, 37
NAME SET			AUXソースに名前を付けます。	AUX	22
SCROLL	AUTO*/ MANUAL		テキスト表示を自動的にスクロールするか設定します。	—	37
FAV DELETE	ALL/ 1 — 6		FAVORITEプリセットでメモリーした設定を消去します。	SB	29
NAV GUIDE	OFF*/ ATT		接続されているナビの音声ガイド時の設定をします。	SB	37
AUX	OFF/ ON1*/ ON2		ソース選択時に内蔵AUXを表示するか設定します。	SB	37
CD READ	1*/2		CDの読み取りモードを設定します。	SB	37
AUDIO PRESET			オーディオ設定の登録･呼び出しをします。	SB以外	26, 27

* お買い上げ時の設定状態を示します。

SB : スタンバイ中に設定できます。

SB以外 : スタンバイ以外のときに設定できます。

Tuner : Tunerソース中に設定できます。

FM : FMを受信中に設定できます。

AF : USB（iPodを除く）/CDのオーディオファイルソース中に設定できます。

iPod : iPodソース中に設定できます。（iPodを接続したときのUSBソース）

AUX : AUXソース中に設定できます。

2ZONE : 「オーディオセットアップ」(p25)の"2ZONE"項目が"ON"中に設定できます。

— : すべてのソース中に設定できます。

- セキュリティコードが設定されているときは、"SECURITY SET"のかわりに"SECURITY CLEAR"（セキュリティコード消去）が表示されます。
- AUXソースを使用しないときは、"AUX"は"OFF"に設定してください。

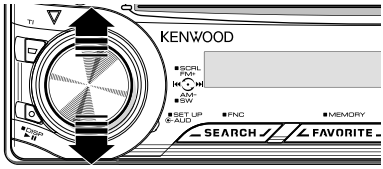
ラジオを聴く

FM/AM 放送を受信します。また、各バンドごとに 6 局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

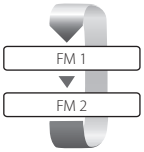
バンド切り替え

ラジオのFMまたはAM放送のバンドを切り替えます。

1 バンドを切り替えます



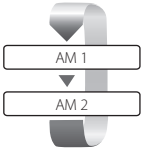
オーディオノブを上に動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



FMバンド1

FMバンド2

オーディオノブを下に動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



AMバンド1

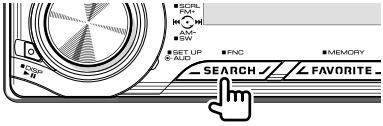
AMバンド2

- ステレオ受信中は ST インジケーターが点灯します。

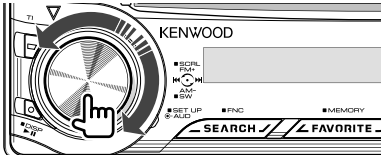
プリセットチューニング

メモリーしたプリセット局(放送局)を受信します。

1 プリセットチューニングモードにします



2 呼び出したいプリセット局を選び決定します



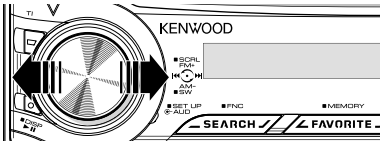
オーディオノブで選局し、ノブを押して決定します。

- プリセット局を受信するには、あらかじめ放送局がメモリーされている必要があります。メモリー方法については、「オートメモリー」(p17) または「マニュアルメモリー」(p17) をご覧ください。

マニュアルチューニング

マニュアルで放送局を選局します。

1 受信したい放送局を選局します



オーディオノブを左右に動かすと、受信状態の良い放送局を自動的に受信します。

- 選局方法は設定によって、周波数を 1 ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信することができます。詳しくは「チューニングモード」(p17)をご覧ください。

オートメモリー

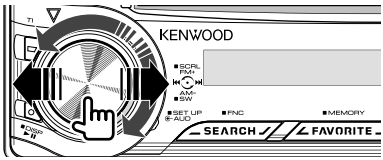
受信状態の良い放送局を自動的に選び、放送局をメモリーします。

1 メモリーしたいバンドを受信します

2 SEARCHボタンを1秒以上押し▶“AUTO MEMORY”を選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

3 オートメモリーを開始します。



オーディオノブで“YES”を選択し、ノブを押して決定します。

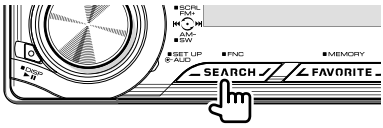
- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的に終了します。

マニュアルメモリー

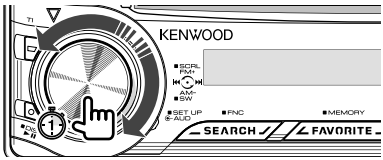
受信中の放送局をメモリーします。

1 メモリーしたい放送局を受信します

2 プリセットチューニングモードにします



3 メモリーする番号を選び決定します



オーディオノブで番号を選び、ノブを1秒以上押して決定します。

プリセットメモリーを中止するときは...
SEARCHボタンを押して終了します

- オートメモリーではメモリーされない放送局を記憶したいときなどに便利です。

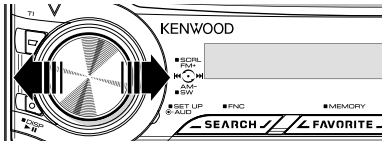
チューニングモード

オーディオノブを左右に動かして選局するときのチューニングモードを設定します。チューニングモードには、次の3種類があります。

1 SEARCHボタンを1秒以上押し▶“MENU”▶“SEEK”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

2 チューニングモードを選びます



表示	操作
“AUTO1”	受信状態の良い放送局を自動的に選びます。（オート1）
“AUTO2”	メモリーされている放送局を番号順に受信します。（オート2）
“MANUAL”	押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。（マニュアル）

3 SEARCHボタンを押して終了します

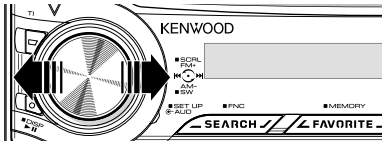
モノラルモード (FM放送を受信中のみ)

FMステレオ放送の受信状態が良くないときにモノラルモードにすると、ノイズが軽減されて聴きやすくなる場合があります。

1 SEARCHボタンを1秒以上押し▶“MENU”▶“MONO”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

2 モノラルモードをオン/オフします



“MONO ON”、または“MONO OFF”を設定できます。

3 SEARCHボタンを押して終了します

ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く

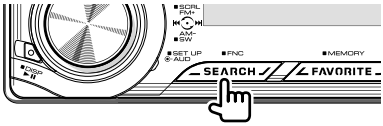
CD やオーディオファイル（CD-ROM/R/RW、USB デバイス、および iPod）をいろいろな機能を使ってプレイできます。

● CD とオーディオファイルの基本的な聴きかたは「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」（p12）をご覧ください。

ミュージックサーチ（CD、オーディオファイルのみ）

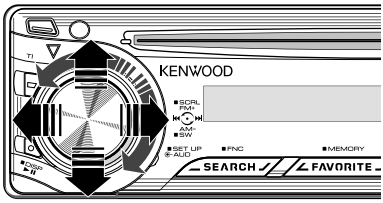
プレイ中のドライブやメディアから聴きたい曲を探します。

1 ミュージックサーチモードにします



▶ SEARCH

2 聴きたい曲を探してプレイします



オーディオファイルの操作方法

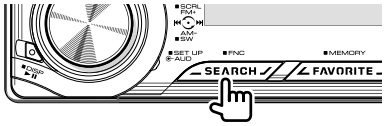
動作	操作
選択フォルダ/ファイルを移動する	オーディオノブを回す。 または、オーディオノブを上下に押す。
フォルダ/ファイルを選択する	オーディオノブを押す。 または、オーディオノブを右に押す。
前のフォルダに戻る	オーディオノブを左に押す。
最初のフォルダ（ルート）に戻る	オーディオノブを左に1秒以上押す。

フォルダ名の横に"＜"や"＞"が表示されている場合は、そのフォルダの前や後にもフォルダがあることを示しています。
ファイル名が表示されているときは、ファイル名の最後に"✱"が表示されます。

内蔵CDの操作方法

動作	操作
トラックを移動する	オーディオノブを回す。 または、オーディオノブを上下に押す。
トラックを選択する	オーディオノブを押す。
最初のトラックに戻る	オーディオノブを左に1秒以上押す。

ミュージックサーチを中止するときは…

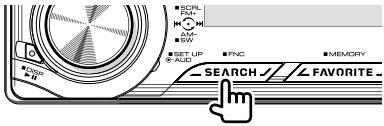


● ランダムプレイ中またはスキャンプレイ中は、ミュージックサーチを行えません。

ミュージックサーチ（iPodのみ）

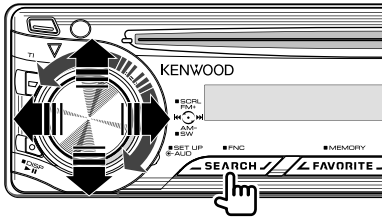
iPod中の聴きたい曲を探します。

1 ミュージックサーチモードにします



▶ SEARCH

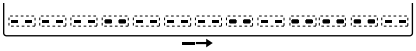
2 聴きたい曲を探してプレイします



動作	操作
項目を移動する	オーディオノブを回す。
スキップサーチ*1	オーディオノブを左右に押す。
項目の決定する	オーディオノブを押す。

前の項目に戻る	オーディオノブを上に押す。
最初の項目に戻る	オーディオノブを上に1秒以上押す。
イニシャルで検索する	SEARCH ボタンを1秒以上押す。

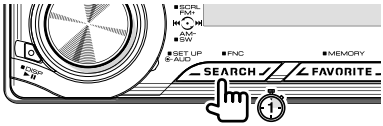
現在表示している項目が、全体のどのぐらいの位置にあるかを、表示部下部のアイコンバーの長さで13段階に示します。



イニシャルで検索するときは…

現在選択しているブラウズ項目内(アーティストやアルバムなど)のリストからアルファベットで選択できます。

1 アルファベットサーチモードにします

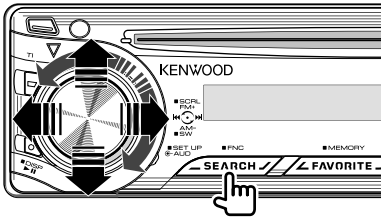


▶ A B C ...

アルファベットが表示されるまで押し続けます。

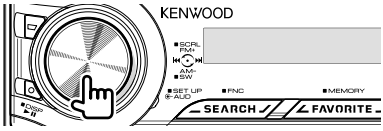
- 現在選択しているブラウズ項目でアルファベットサーチできない場合は表示が切り替わりません。

2 検索するイニシャルを選択します



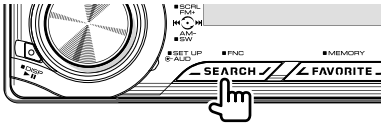
動作	操作
文字を移動する	オーディオノブを回す。または、オーディオノブを左右に押す。
表示行を移動する	オーディオノブを上下に押す。
アルファベットサーチモードを中止する	SEARCH ボタンを押す。

3 イニシャルを決定します



検索を開始します。検索が終わると選択した文字位置でミュージックサーチモードに戻ります。

アルファベットサーチを中止するときは…



ミュージックサーチを中止するときは...
SEARCH ボタンを押して終了します

- *1 スキップサーチ：スキップする曲数は、現在選択しているリスト内総数の割合で決まります。割合は「ファンクションコントロール」(p14)の“SKIP SRCH”項目で設定します。また、3秒以上押し続けると設定に関係なく10%でスキップします。
- アルファベットサーチの検索時間は、iPod内の曲数やフォルダ構造によって長くなる場合があります。
- アルファベットサーチのイニシャル選択では、“*”は記号を、“1”は数字を検索します。
- アルファベットサーチでは、最初の文字が冠詞“a”、“an”、“the”で始まる場合は、冠詞を除いて検索します。
  例えば、“The artist”の場合は“artist”で検索されます。
- 曲名などで表示できない文字は“ ”(空白)となります。ただし、すべての文字を表示できない場合は、ブラウズ項目名と数字で表示します。

表示	表示
プレイリスト	“PLIST***”
アーティスト	“ART***”
アルバム	“ALB***”
曲名やファイル名	“PRGM***”
ポットキャスト	“PDCT***”
ジャンル	“GEN***”
コンポーザー（作曲者）	“COM***”

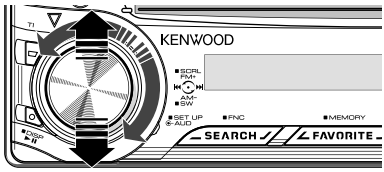
プレイファンクション

リピートプレイやスキャンプレイなどの設定をします。

1 SEARCHボタンを1秒以上押し▶“PLAY MODE”を選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

2 プレイ機能を設定します



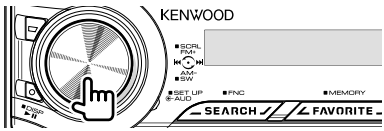
オーディオファイル

表示	機能
“FILE SCN”	現在のフォルダやジャンルなどのオーディオファイルの最初の10秒間を次々にプレイします。
“FOLD RDM”	現在のフォルダやジャンルなどのオーディオファイルの中からランダムにプレイします。
“ALL RDM”	iPod内のすべての曲をランダムな順に再生します。
“FILE REP”	現在のオーディオファイルを繰り返しプレイします。
“FOLD REP”	現在のフォルダの中のオーディオファイルを繰り返しプレイします。

CD、ディスクチェンジャーなどの外部プレーヤー

表示	機能
“TRAC SCN”	現在のCD/MDの曲の最初の10秒間を次々にプレイします。
“DISC RDM”	現在のCD/MDの中の曲からランダムにプレイします。
“MGZN RDM”	ディスクチェンジャーの中の曲からランダムにプレイします。
“TRAC REP”	現在のCD/MDの曲を繰り返しプレイします。
“DISC REP”	現在のCD/MDを繰り返しプレイします。

3 選択した項目を設定します



押すたびにオンとオフが切り替わります。

4 SEARCHボタンを押して終了します

- 選択しているソースで使用できる機能のみが表示されます。
- ランダムプレイ中は、オーディオノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。
- iPod内の曲数やフォルダ構造によって、オールランダム機能がオンするまでの時間が長くなる場合があります。
- オールランダム機能をオンすると、iPodのブラウズ項目がソングに変更されます。オールランダム機能をオフしてもブラウズ項目はソングのままとなります。
- オールランダム機能をオン中にミュージックサーチでブラウズ項目を変更すると、オールランダム機能はオフされて、ブラウズ項目内のランダムプレイになります。

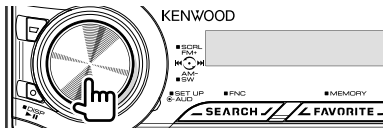
iPodコントロールハンドモード (iPodのみ)

iPodの操作をiPod本体で行うようにします。

1 SEARCHボタンを1秒以上押し▶“iPodCTRL”を選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

2 iPodコントロールモードを設定します



iPod CTRL : ON
iPod CTRL : OFF

押すたびにiPodコントロールハンドモードがオン/オフされます。

- iPodコントロールハンドモード中は、本機から操作できません。
- iPodコントロールハンドモード中は、曲情報などを表示できないため、“iPod BY HAND”と表示されます。
- 接続したiPodがiPodコントロールハンド機能に対応している場合に操作できます。

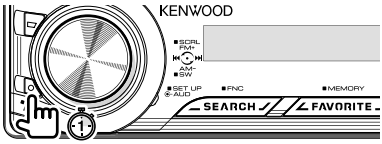
ディスプレイコントロール

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

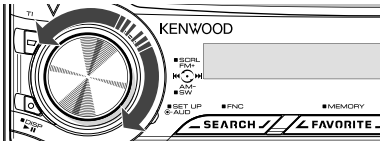
ディスプレイ選択

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

1 ディスプレイセレクトモードにします



2 表示を選択します



オーディオノブを回すと次の順で切り替わります。

FM/AM受信、交通情報受信時

表示	設定内容
FREQUENCY	周波数表示
CLOCK	時計表示

CDプレイ/ディスクチェンジャープレイ時

表示	設定内容
DISC TITLE	ディスクタイトル
TRACK TITLE	トラックタイトル
P-TIME	トラック演奏時間＆トラック番号
CLOCK	時計表示

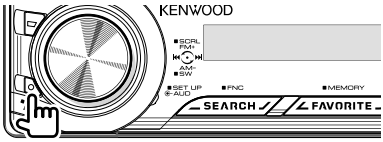
オーディオファイルプレイ時

表示	設定内容
TITLE/ARTIST	曲名＆アーティスト名
ALBUM/ARTIST	アルバム名＆アーティスト名
FOLDER NAME	フォルダ名
FILE NAME	ファイル名
P-TIME	ファイル演奏時間 & 曲番号
CLOCK	時計表示

STANDBY時、AUX時

表示	設定内容
SOURCE NAME	“STANDBY”/AUXネーム表示
CLOCK	時計表示

3 ディスプレイセレクトモードを終了します

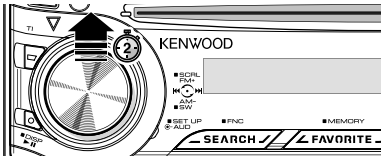


- 時計表示に設定した場合は、すべてのソース時に時計が表示されます。
- ディスクタイトル、トラックタイトル、曲名、アルバム名が登録されていないとプレイタイムが表示されます。
- iPodのプレイ中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のブラウズ項目に沿った名称が表示されます。
- iPodのプレイ中に「iPodコントロールハンドモード」（20ページ）機能をオンにすると、“iPod BY HAND”と表示されます。
- iPodのプレイ中の表示で、すべての文字を表示できない場合は、リスト内のファイル番号で示します。

表示	表示
曲名	“TITLE***”
フォルダ名	“FLD***”
ファイル名	“FILE***”

タイトル/テキストスクロール

タイトル/テキストをスクロールさせます。



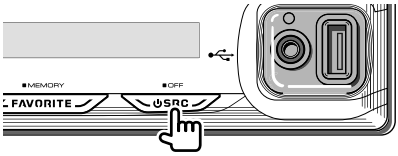
タイトル/テキスト表示のときに、2秒以上押し続けるとスクロールします。

- スクロールできるのは次のタイトル/テキストです。
  - ディスクテキスト/トラックテキスト
  - フォルダ名
  - 曲名
  - アルバム名
  - ファイル名
  - アーティスト名

AUXネームセット

AUXソースに切り替えたときに表示される名前を設定します。

1 AUXソースにします

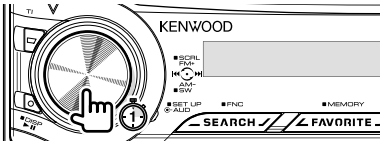


▶ AUX

2 SEARCHボタンを1秒以上押し▶“MENU”▶“NAME SET”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

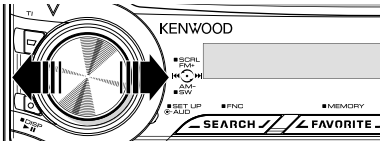
3 ネームセットを開始します



▶ AUX

現在のAUXネームが表示されるまで押し続けます。

4 AUXネームを選択します



オーディオノブを左右に動かすと、次の順で切り替わります。

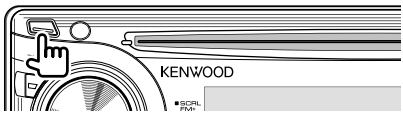
表示
AUX/AUX EXT
DVD
PORTABLE
GAME
VIDEO
TV

5 SEARCHボタンを押して終了します

- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機をはずすと、AUXネームは“AUX”に戻ります。
- AUXネームを付けられるのは、内蔵AUXまたは別売品のKCA-S220Aを使用した外部AUXのみです。

操作パネルの取り外し

操作パネルを取り外します。



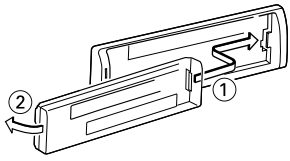
パネルのロックが解除されて、パネルが取り外せます。

- パネルを取り外すと電源がオフになります。
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。取り外したパネルは、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿度が高い場所
  - ほこりのかかる場所

操作パネルの取り付け

操作パネルを取り付けます。

1 操作パネルを本体に合わせます



パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせます。

2 操作パネルを取り付けます

パネル左側を本体に合わせてロックします。
パネルが取り付き、本機が使用可能となります。

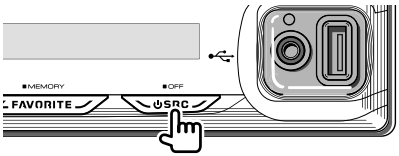
オーディオコントロール

音響効果などを設定します。

オーディオコントロール

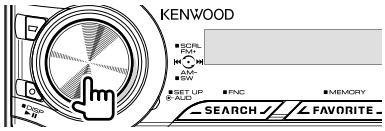
音質や音量などを調整します。

1 設定したいソースにします



ソースごとにイコライザーカーブ、 低音、 中音、 高音を設定できます。
STANDBYモード以外のソースを選択します。

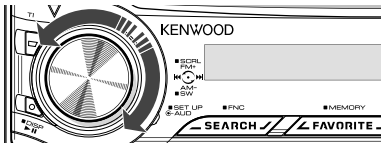
2 調整する項目を選びます



押すたびに、 調整項目は次の順で切り替わります。

表示	設定内容
R-VOLUME	2ZONEがオンのとき、リア側の音量を調整します。
SUB-W L	サブウーファーの音量を調整します。
B.BOOST	低音を増強します。
NATURAL など	ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。
BASS L	低音域の音量を調整します。
MID L	中音域の音量を調整します。
TRE L	高音域の音量を調整します。
BALANCE	左右の音量バランスを調整します。
FADER	前後の音量バランスを調整します。
元の表示（解除状態）	

3 各項目を調整します

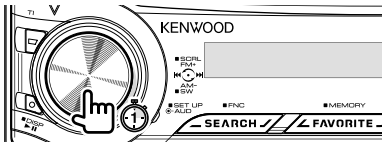


各項目の設定範囲は次のとおりです。

表示	設定範囲
R-VOLUME	0～35
SUB-W L	-15～+15
B.BOOST	STEP1、STEP2、OFF
NATURAL など	NATURAL、USER、ROCK、VOCAL、EASY、DANCE、JAZZ、GAME
BASS L	-8～+8
MID L	-8～+8
TRE L	-8～+8
BALANCE	L(左)15～R(右)15
FADER	R(リア)15～F(フロント)15

- イコライザーカーブ、低音、中音、高音は、ソースごとに設定できます。
- 低音、中音、高音は、「オーディオコントロールの詳細設定」(p24) で詳細な設定ができます。
- イコライザーカーブの “USER” 設定は、“BASS L”、“MID L”、 “TRE L” の調整した値です。
- イコライザーカーブの設定をすると、“BASS L”、“MID L”、および “TRE L” は、イコライザーカーブの値に置き換えられます。
- 音質調整は、オーディオノブ、[TI]、または[▲]以外のボタンを押しても解除できます。
- “SWB-W L” は、「ファンクションコントロール」(p14) で “SWPRE” が “SUB-W” (サブウーファー) に設定され、さらに「サブウーファー出力コントロール」(p25) がオンに設定されているときに設定できます。
- “FADER” および “SUB-W L” は、「オーディオセットアップ」(p25) の “2ZONE” が “ON” に設定しているときは表示されません。

イコライザーカーブ設定中は効果の調整ができます。



表示	設定内容
HIGH	イコライザー効果大
LOW	イコライザー効果小

“NATURAL” および” USER” に設定中は調整できません。

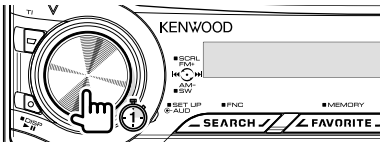
オーディオコントロールの詳細設定

低音、中音、高音を詳細に設定します。

1 詳細設定を開始します

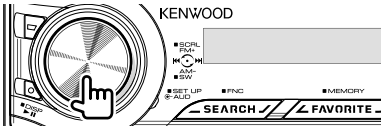
オーディオコントロール（p23）で、低音域、中音域、高音域を調整中に、“BASS F”、“MID F ”または“TRE F”と表示されるまで押し続けます。

BASS L / MID L / TRE L ▶



▶ BASS F / MID F / TRE F

2 調整する項目を選びます



押すたびに、次の順に切り替わります。

“BASS L” で押したとき

表示	設定内容
BASS F	調整する低音域の中心周波数設定
BASS Q	低音クオリティーファクター設定
BASS EXT	低音中心周波数伸張設定

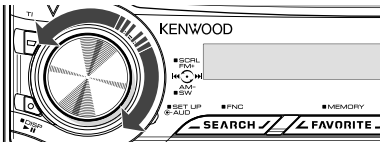
“MID L” で押したとき

表示	設定内容
MID F	調整する中音域の中心周波数設定
MID Q	中音クオリティーファクター設定

“TRE L” で押したとき

表示	設定内容
TRE F	調整する高音域の中心周波数設定

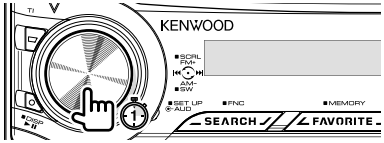
3 各項目を調整します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
BASS F	40/50/60/70/80/100/120/150 (Hz)
BASS Q	1.00/1.25/1.50/2.00
BASS EXT	OFF/ON
MID F	0.5/1.0/1.5/2.0 (kHz)
MID Q	1.0/2.0
TRE F	10.0/12.5/15.0/17.5 (kHz)

4 詳細設定を終了します

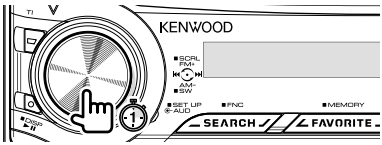


- 各調整項目については「Help? 用語集」(p36)をご覧ください。

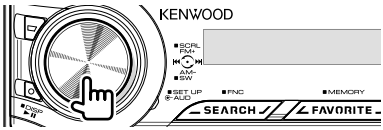
オーディオセットアップ

音量オフセットやサブウーファー設置時のクロスオーバー周波数などを設定します。

1 オーディオセットアップを開始します



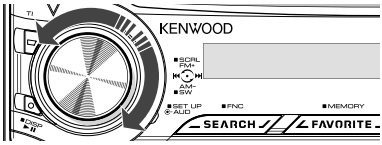
2 設定する項目を選びます



押すたびに、次の順に切り替わります。

項目	設定範囲
HPF F	フロントのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
HPF R	リアのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
LPF SW	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
SW PHASE	サブウーファーの位相を設定します。
V-OFFSET	ソースごとの音量差を調整します。
2ZONE	デュアルゾーン機能を設定します。

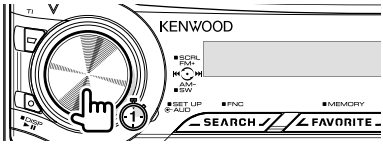
3 各項目を設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
HPF F/ HPF R	THRU (Through)/ 40/ 60/ 80/ 100/ 120/ 150/ 180/ 220 (Hz)
LPF SW	50/ 60/ 80/ 100/ 120/ THRU (Through) (Hz)
SW PHASE	REVERSE（180˚）/NORMAL（0˚）
V-OFFSET	0 ～ −8 (AUX : −8 ～ +8)
2ZONE	ON/OFF

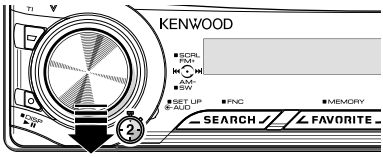
4 オーディオセットアップを終了します



- “V-OFFSET” でソースごとに音量オフセットを設定しておくと、ソースを切り替えてもほぼ同じ音量で聴くことができます。
- “LPF SW” および “SW PHASE” は、「ファンクションコントロール」（p14）で “SWPRE” が “SUB-W”（サブウーファー）に設定され、さらに「サブウーファー出力コントロール」（p25）がオンに設定されているときに設定できます。
- “SW PHASE” は “LPF SW” が “THRU” に設定されているときは表示されません。
- “2ZONE” が “ON” に設定されているときは、 “HPF” および “LPF” は表示されません。

サブウーファー出力コントロール

サブウーファー出力のオン/オフを設定します。



2秒以上押し続けると、“SUBWOOFER ON”（サブウーファーオン）、または“SUBWOOFER OFF”（サブウーファーオフ）を設定できます。

- サブーウーファーのオン/オフは、「ファンクションコントロール（p14）の “SWPRE” 項目が “SUB-W”（サブウーファー）に設定されているときに設定できます。

オーディオプリセット

オーディオコントロールの設定をメモリーします。ここでメモリーした値は、リセットボタンを押しても消去されません。

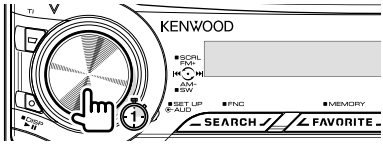
1 メモリーするオーディオコントロール設定をします

「オーディオコントロール」(p23)、「オーディオコントロールの詳細設定」(p24)、および「オーディオセットアップ」(p25) を参照してください。

2 SEARCHボタンを1秒以上押し▶“MENU”▶“AUDIO PRESET”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

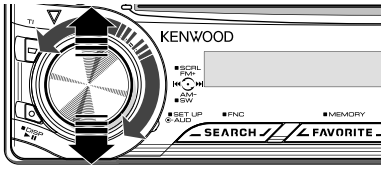
オーディオプリセットモードにします



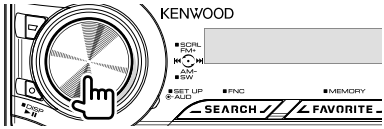
▶ RECALL

“RECALL”と表示されるまで押し続けます。

3 “MEMORY”を選択します

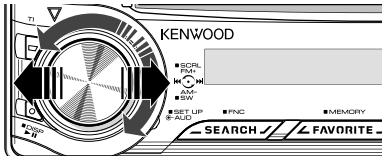


▶ MEMORY



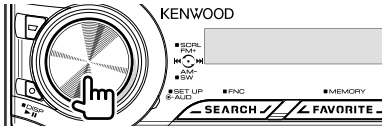
もう一度押します。

4 “YES”を選択します



▶ YES

5 メモリーします



▶ COMPLETE

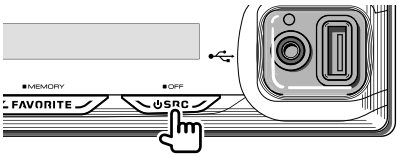
6 SEARCHボタンを押して終了します

- メモリーできるオーディオコントロール設定は1組です。ソース別のメモリーはできません。
- リセットを押したときは、メモリーした値が「オーディオコントロールの詳細設定」(p24)と「オーディオセットアップ」(p25) の初期設定値になります。
- メモリーできるのは「オーディオコントロール」(p23)、「オーディオコントロールの詳細設定」(p24) および「オーディオセットアップ」(p25) の設定項目です。ただし下記の項目はメモリーされません。
  - ボリューム
  - “BALANCE”、“FADER”、“REAR VOLUME”
  - “VOL-OFFSET”、“2ZONE”

オーディオプリセットの呼び出し

オーディオプリセットメモリーでメモリーした設定を呼び出します。

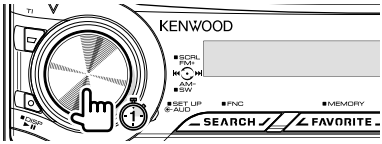
1 ソースを選択します



2 SEARCH ボタンを1秒以上押し▶“MENU”▶“AUDIO PRESET”と選択します

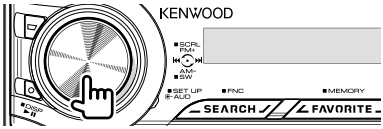
選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

3 オーディオプリセットモードにし“RECALL”を選択します



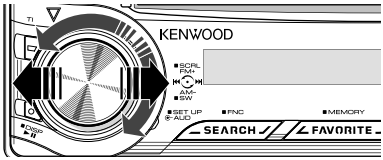
▶ RECALL

“RECALL”と表示されるまで押し続けます。



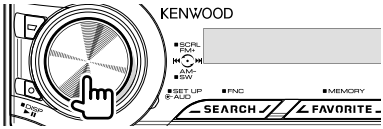
もう一度押します。

4 “YES”を選択します



▶ YES

5 呼び出します



▶ COMPLETE

6 SEARCH ボタンを押して終了します

- オーディオプリセットを呼び出すと、設定していた「オーディオコントロール」(p23)、「オーディオコントロールの詳細設定」(p24)および「オーディオセットアップ」(p25)の設定値がメモリーしていた値に置き換わります。

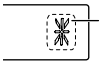
よく使う操作を設定する(FAVORITE コントロール)

お気に入りの DJ の放送局や iPod のプレイリスト、アーティストの一覧表示などを選択するまでの操作をメモリーします。メモリーした設定は、聴いているソースに関係なくダイレクトに呼び出せます。

プリセットメモリー

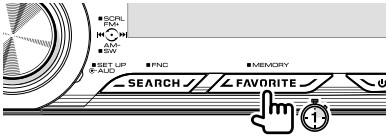
お気に入りの放送局、iPodのプレイリストやアーティストなどを選択する操作手順を、6種類メモリーします。メモリーできる項目は「FAVORITE（フェイバリット）コントロール」(p11)をご覧ください。

1 記憶させたいソースにして項目を設定します



操作が記憶できるときは、ディスプレイに ┼ → ✳ → ┼ → ✳ マークが表示されます。

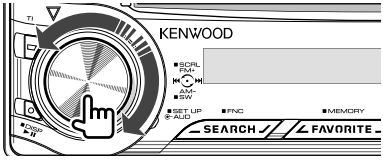
2 プリセットモードにします



▶ FAV MEMORY

"FAV MEMORY" と表示されるまで押し続けます。

3 メモリーする番号を選び決定します



オーディオノブで番号を選び、ノブを押して決定します。

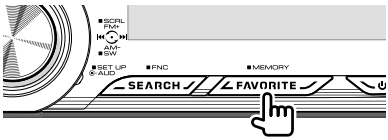
プリセットメモリーを中止するときは…
FAVORITE ボタンを押して終了します

- 同じプリセット番号に登録すると上書きされます。
- 設定したメモリーはリセットボタンを押しても消去されません。
- USBデバイス（メモリーなど）のフォルダやファイルの選択は設定できません。

プリセットメモリーの呼び出し

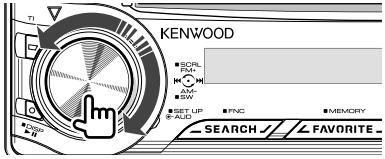
プリセットでメモリーした設定を呼び出します。

1 プリセット呼び出しモードにします



▶ FAV CALL

2 呼び出しするメモリー番号を選び決定します



オーディオノブで番号を選び、ノブを押して決定します。

プリセットメモリーの呼び出しを中止するときは…
FAVORITE ボタンを押して終了します

- iPodのときは、プレイリスト/アーティスト/アルバムなどのリスト選択画面を呼び出します。曲は自動的に再生されません。
- MENU（メニュー）の設定項目を呼び出すときは、あらかじめ "MENU"（メニュー）リスト（p15）のソースを選択しておきます。

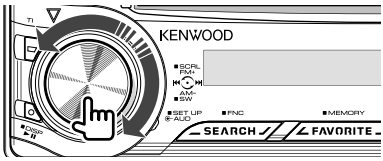
プリセットメモリーの消去

プリセットでメモリーした設定を消去します。

1 スタンバイ ソースにする▶ SEARCH ボタンを1秒以上押し▶ “MENU” ▶ “FAV DELETE” と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

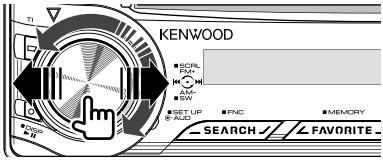
2 オーディオノブで消去する番号または “ALL” (全部)を選び決定します



▶ DELETE

“DELETE” と表示されます。

3 選択したプリセットメモリーを消去します



オーディオノブで “YES” を選択し、ノブを押して決定します。

▶ COMPLETE

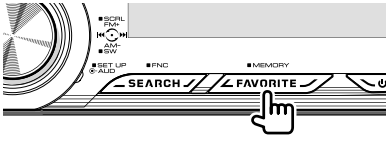
“COMPLETE” と表示されます。

4 FAVORITE ボタンを押して終了します

ネームセット

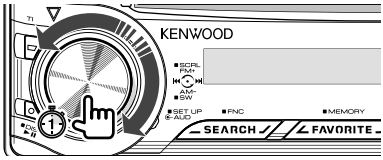
登録したプリセットメモリーの名前を変更できます。

1 プリセット呼び出しモードにします



▶ FAV CALL

2 呼び出しするメモリー番号を選びネームセットを開始します

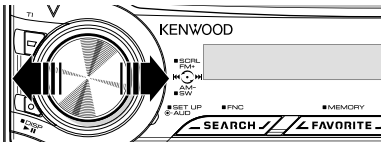


オーディオノブで番号を選び、ノブを押し続けます。

▶ NAME SET

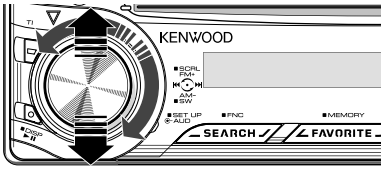
“NAME SET” と表示されるまで押し続けます。

3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



▶ FM1----------

4 文字を選びます



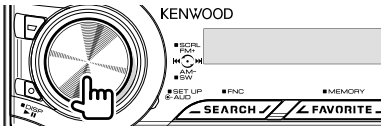
▶ FM1 K---------

名前は12文字まで登録できます。
入力できる文字が次の順に切り替わります。

表示	文字種
“A”	英大文字
“1”	数字・記号

5 手順3、4を繰り返して、すべての文字を入力します

6 ネームセットを終了します



ネームセットを中止するときは…
FAVORITE ボタンを押して終了します

メニュー（MENU）

各種の機能を設定します。

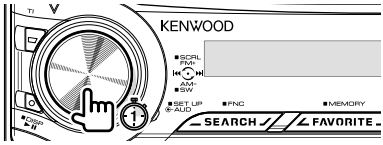
時刻合わせ

本機の時計を合わせます。

1 SEARCHボタンを1秒以上押し▶“MENU”▶“CLOCK ADJUST”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

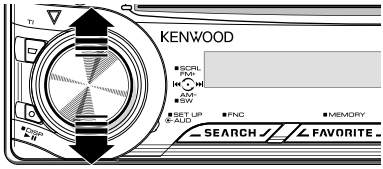
2 時刻合わせを開始します



▶ 12:00

時計表示になるまで押し続けます。

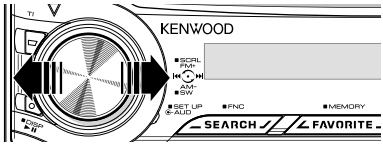
3 時刻（時）を調整します



▶ 12:00 AM

時計は12時間制で表示します。

4 分を調整します



5 手順3～4を繰り返して時刻を合わせます

▶“分”を調整したときには、時計合わせ終了時に00秒からスタートします。

6 SEARCHボタンを押して終了します

セキュリティコードの設定

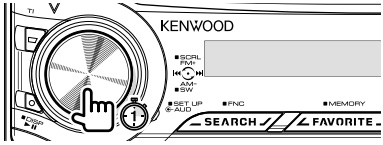
4桁の暗証番号を設定して、盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードの変更・消去には、セキュリティコードの入力が必要です。セキュリティコードは必ずメモしておくことをお勧めします。

1 スタンバイ ソースにする▶SEARCHボタンを1秒以上押し▶“MENU”▶“SECURITY SET”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

2 セキュリティコードセットを開始します

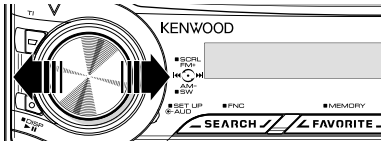


▶ ENTER ▶ CODE - - - -

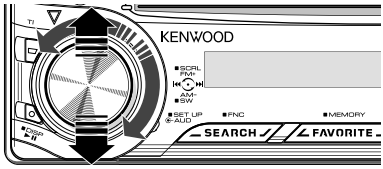
“ENTER”と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコードを入力します

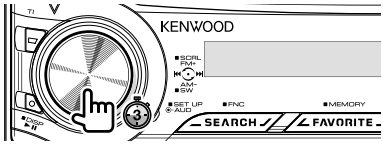
入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



4 決定します



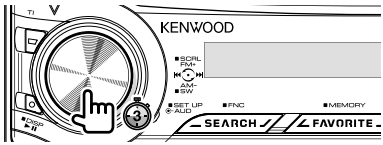
RE-ENTER ▶ CODE - - - -

“RE-ENTER”と表示されるまで押し続けます。

5 もう一度入力します

手順3と同じ方法で、同じセキュリティコードを入力します。

6 決定します



APPROVED

“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。

7 SEARCH ボタンを押して終了します

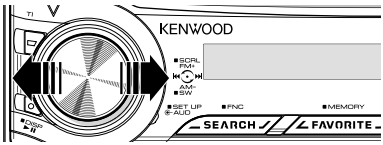
- 手順5で入力したセキュリティコードが手順3で入力したセキュリティコードと異なる場合は、手順3からやりなおすことになります。
- セキュリティコードが設定されると、リセットボタンを押したときやバッテリーの接続を切った場合にセキュリティコードの入力が必要となります。詳しくは、「セキュリティコードの入力」（p31）をご覧ください。

セキュリティコードの入力

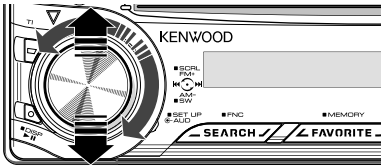
セキュリティコードが設定されている場合、リセットボタンを押した後や本機をバッテリーから外した後で初めて使うときには“ENTER”と表示されます。電源をオンにするためにセキュリティコードを入力する必要があります。

1 セキュリティコードを入力します

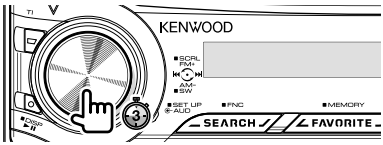
入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



2 決定します



APPROVED

“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。

- 入力したセキュリティコードが間違っていると電源がオフになります。このようなときは、SRC ボタンを押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。

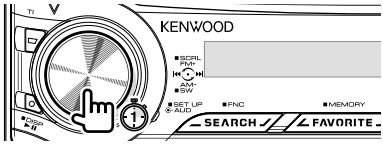
セキュリティコードのクリア

セキュリティコードの設定を解除します。

1 スタンバイ ソースにする▶ SEARCH ボタンを1秒以上押し▶“MENU”▶“SECURITY CLR”と選択します

選択のしかたは「ファンクションコントロール」(p14) を参照してください。

2 セキュリティコードクリアを開始します

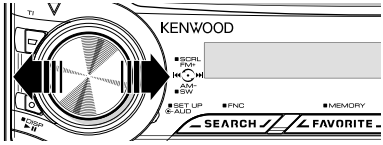


ENTER ▶ CODE - - - -

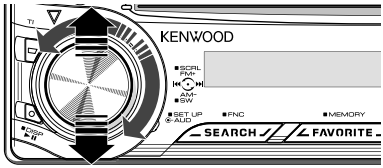
“ENTER”と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコードを入力します

入力する桁を選択するには

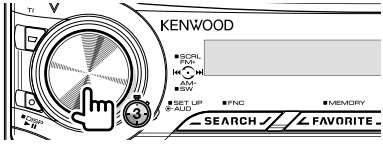


入力する数字を選択するには



「セキュリティコードの設定」(p30)で設定したセキュリティコードを入力します。

4 決定します



▶ CLEAR

“CLEAR”と表示されるまで押し続けます。

5 SEARCH ボタンを押して終了します

- 入力したセキュリティコードが間違っていると“ERROR”と表示されます。再度手順3からの操作を行って正しいコードを入力してください。

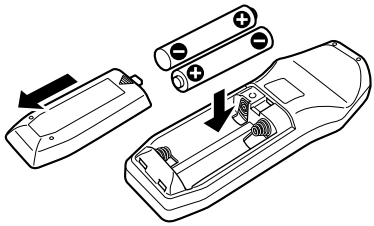
リモコン操作

本機を付属のリモコンで操作することができます。

⚠
- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を炎の中に入れたり、高温になる場所に置かないでください。破裂することがあります。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

電池の入れかた

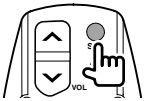
付属の電池(単三形2本)を+/−の向きを正しく合わせて入れてください。



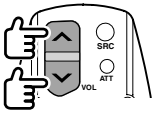
- 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。
  このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

共通操作

ソース切り替え

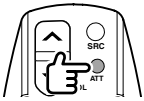


音量調整



アッテネーター

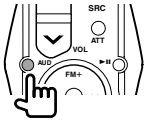
ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。



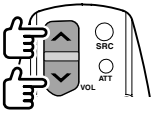
オーディオコントロール

音質などを調整します。

1 調整する項目を選びます。



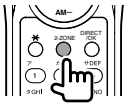
2 調整します。



- 調整できる項目については「オーディオコントロール」(p23) をご覧ください。
- 「オーディオコントロールの詳細設定」(p24) の項目は、リモコンでは操作できません。

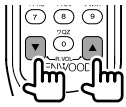
デュアルゾーン

デュアルゾーン機能をオン/オフします。



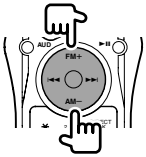
リア音量調整

デュアルゾーン機能オン時のリアの音量を調整します。

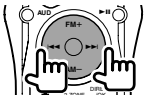


ラジオ

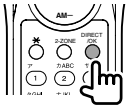
バンド切り替え
受信するバンドを切り替えます。



選局
受信する放送局を切り替えます。

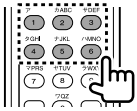


ダイレクトチューニング
このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。



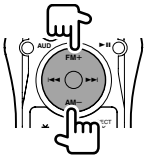
例：76.1MHz (FM) の場合 (3桁)
(7)(6)(1)
例：522kHz (AM) の場合 (4桁)
(0)(5)(2)(2)

プリセットチューニング
メモリーされている放送局の番号を押すと、プリセットされた局を受信できます。



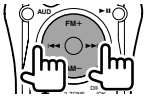
CD/オーディオファイル

ディスクサーチ/フォルダサーチ
（ディスクサーチ：ディスクチェンジャーのみ）
プレイするディスク/フォルダを選択します。



また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

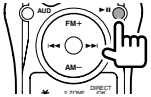
トラックサーチ/ファイルサーチ
プレイする曲/ファイルを選択します。



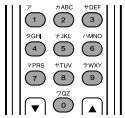
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

- ランダムプレイ中、スキャンプレイ中、およびiPodをプレイ中は、ダイレクトサーチは行えません。

プレイ/ポーズ
プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。



テンキー



- テンキーに続いてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。
- オーディオファイルのプレイ中にテンキーに続いてファイルサーチキーを押すとプレイ中のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。
- iPodのプレイ中は、ダイレクトサーチできません。
- ランダムプレイまたはスキャンプレイがオンのときは、ダイレクトサーチできません。

オーディオファイル

以下のオーディオファイルがプレイできます。

プレイできるオーディオファイル
AAC-LC (.m4a), MP3 (.mp3), WMA (.wma)

使用できるメディア
CD-R/RW/ROM

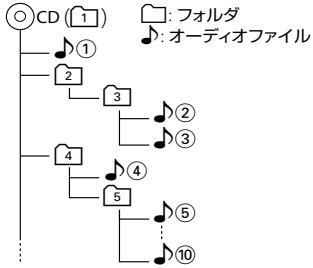
使用できるディスクのフォーマット
ISO 9660 Level 1, ISO 9660 Level 2, Joliet, Romeo, Long file name

プレイできるUSBデバイス
USBマスストレージクラス、付属のiPod接続ケーブルで接続されたiPod

プレイできるUSBデバイスファイルフォーマット
FAT16, FAT32

上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアやデバイスの種類やコンディションにより正常にプレイできない場合があります。

オーディオファイルをプレイする順番
下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディア/デバイスでは①から⑩の順にプレイされます。



オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、**www.kenwood.com/audiofile**で公開しています。オンラインマニュアルには、この取扱説明書に記載されていない詳しい情報や注意事項が掲載されています。この取扱説明書とあわせて必ずお読みください。

- USBデバイスやiPodを接続して本機の電源をオンにすると、接続している機器の充電ができます。
- USBハブやマルチカードリーダーを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

iPodについて

付属のiPod接続ケーブルで接続します。ソース選択の“USB”表示は認識後に“iPod”になり、本機からコントロールが可能になります。本書で断りの無い限り「iPod」と呼んでいるのは付属のiPod接続ケーブルで接続されたiPodおよびiPhoneを指します。

- 接続可能なiPodは、iPod nano、iPod with Video、iPod classic、iPod touch、iPhone です。（2008年10月現在）今後発売になるiPodについては、ホームページをご覧ください。
  www.kenwood.com/ipod/kca_ip/
- iPodを接続してプレイすると、最初はiPodでプレイしていた曲から始まります。
- iPodに“KENWOOD”と表示されているときは、iPodの操作はできません。

故障かな？と思ったら

? 操作スイッチを押しても動作しない
- ✔ システムに異常が発生している。
- ☛ リセットボタンを押してください(p8)。

? チューナーの感度が悪い
- ✔ 自動車のアンテナが伸びていない。
- ☛ アンテナを十分に伸ばしてください。

- ✔ アンテナコントロール電源が接続されていない。
- ☛ 「接続」(p42)を参照して正しく接続し直してください。

? ディスクが取り出せない
- ✔ ディスクが排出の途中で止まっている。
- ☛ ディスクが完全に排出されるまでイジェクトボタンを押し続けてください。

? CDやオーディオファイルをプレイできない
- ✔ ディスクが異常に汚れている。
- ☛ 「ディスクの取り扱いについて」(p9)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

? オーディオファイルをプレイ中に音飛びする
- ✔ ディスクに傷や汚れがある。
- ☛ 「ディスクの取り扱いについて」(p9)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

- ✔ ディスク作成時の問題。
- ☛ ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。

共通

AAC（エーエーシー）
正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p35)をご覧ください。

MP3（エムピースリー）
正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p35) をご覧ください。

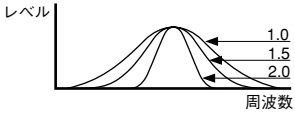
WMA（Windows Media™ Audio）
米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p35) をご覧ください。

ディスクチェンジャー
外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C520、KDC-C510、KDC-C406など)、マルチメディアプレーヤー(VD-C77) です。

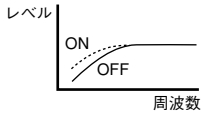
オーディオコントロール

BASS F/MID F/TRE F（バスフリケンシィ / ミドルフリケンシィ / トレブルフリケンシィ）
低音、中音、高音を調節する周波数 (中心周波数) を、この機能を使って設定することができます。

BAS Q/MID Q（バスクォリティーファクタ / ミドルクォリティーファクタ）
低音と中音の調整スロープを設定します。値が大きくなるほどスロープの傾斜が急になります。



BASS EXT（バスエキステンデッド）
"ON"に設定すると、低音中心周波数を低域側に約20%伸びた状態にします。



HPF（ハイパスフィルター）
設定された周波数（カットオフ周波数）よりも低い成分をカットします。
プリアウトをサブウーファー用に使用するときに、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にします。
"THRU"（スルー）に設定すると、この機能をオフにできます。
本機では、ハイパスフィルターをフロントスピーカー(HPF F) とリアスピーカー(HPF R) に独立して設定できます。

LPF（ローパスフィルター）
設定された周波数（カットオフ周波数）よりも高い成分をカットします。
プリアウトをサブウーファー用に使用するときに、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。
"THRU"（スルー）に設定すると、この機能をオフにできます。

SW PHASE（サブウーファーフェイズ）
サブウーファーの位相 (正相/逆相) を設定します。

V-OFFSET（ボリュームオフセット）
各ソースごとの音量の差を調整します。
これにより、ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。

2ZONE（デュアルゾーン）
"ON"に設定すると、メインソースとサブソース (AUX入力) をフロントスピーカーとリアスピーカーに振り分けて出力します。

- 内蔵AUX(サブソース)の出力先は、「ファンクションコントロール」(p14) の "ZONE2" 項目で設定します。
- メインソースは「ソースを切り替えます」(p11) で設定します。
- フロントの音量はオーディオノブで調整します。
- リアの音量は「オーディオコントロール」(p23) の "R-VOLUME" またはリモートコントローラーの "R.VOL" (p33) で調整します。

イコライザーカーブ
ジャンル別に設定された効果には以下のような特徴があります。
NATURAL：原音のまま出力します。
ROCK：スピーディーで力強いアタック音を再現します。
VOCAL：生き生きとしたボーカルを主体に再現します。
EASY：中低域をベースにした味わい深いサウンドを再現します。
DANCE：ビートの利いた音を再現します。
JAZZ：ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。
GAME：ゲームの効果音をダイナミックに再現します。

メニュー(MENU)

AUX（内蔵 AUX 入力）
この機能をオンにすることにより、AUXソースを選択できるようになります。
ON1：AUXソースが選択できるようになります。内蔵AUX端子に外部機器を常に接続している場合はこの設定にします。
ON2：AUXソースが選択できるようになります。電源をオンにしたときは、アッテネーター機能が働きます。使用する前にアッテネーター機能を解除する必要があります。外部機器の音声を聴くときは、ボリュームノブを時計回りに回してアッテネーター機能を解除します。
OFF：AUXソースが選択できないようになります。内蔵AUX端子を使用しないときはこの設定にします。

CD READ（CD リード）
特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとオーディオファイルのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。
1：オーディオファイル/CDプレイ時にオーディオファイルディスクと音楽CDを自動認識して再生します。
2：音楽CDとして強制的にプレイします。

DISPLAY（ディスプレイ）
“OFF”に設定して本機の操作を5秒間行わないと、ディスプレイが消えます。ただし、各設定モード中などは5秒経過しても、ディスプレイは消えません。

DIMMER（ディマー）
車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさが自動的に切り替わります。

MONO（モノラル設定）
この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。
受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなることがあります。

NAME SET（ネームセット）
AUXソースに切り替えたときの表示を設定します。

NAV GUIDE（ナビガイド）
カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。
“ATT”に設定すると、ナビ音声ガイド時にオーディオの音が小さくなります。
この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。
ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。
なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

SEEK
放送局の探し方を設定することができます。
AUTO1：放送局を自動的に見つけ出します。
AUTO2：メモリーされている放送局を順番に受信します。
MANUAL：1ステップずつ周波数が変わります。

SCROLL（スクロール）
ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、ファイルネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。この機能を“AUTO”に設定しておくとスクロール表示を繰り返し行い、“MANUAL”に設定しておくと表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

SKIP SRCH（スキップ設定）
iPodソース中の「ミュージックサーチ」（p18）で項目を移動する際のスキップする曲数を、現在選択しているリスト内総数の割合で決まります。
ここではスキップする割合を設定します。

SUPREME（Supreme; サプリーム）
低ビットレートでエンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。補完は圧縮フォーマット（AAC、MP3、またはWMA））別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。なお、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定の関係によっては、効果が分かりにくい場合があります。

SWPRE（スイッチングプリアウト）
プリアウトをリア用出力（"REAR"）またはサブウーファー用出力（"SUB-W"）に切り替えます。

ZONE2（ゾーン 2）
デュアルゾーン機能がオンのときの内蔵AUX入力音声の出力先を、フロントスピーカー（"FRONT"）またはリアスピーカー（"REAR"）に設定します。

Help? エラー表示

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

COPY PRO :
プレイしようとしたWMAファイルは、コピープロテクトされています。

ERROR 05 :
ディスクが読めません。

NA FILE :
サポートされていないオーディオファイルのフォーマットをプレイしようとしました。

READ ERROR :
接続しているUSBデバイスのファイルシステムが破損しています。
➡ USBデバイスのファイル、フォルダをコピーしなおしてください。その後もエラー表示が消えない場合は、USBデバイスをフォーマットするか、他のUSBデバイスを使用してください。

TOC ERROR :
- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

PROTECT（点滅）:
スピーカーコードがショートしていたり、車の金属部分に接触してプロテクション機能が働きました。
➡ スピーカーコードを正しく配線または絶縁してからリセットボタン（p8）を押してください。
なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービスセンターへご相談ください。

HOLD :
本機の内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➡ 本機の取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

ERROR 99 :
何らかの原因で正常に動作していません。
➡ イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービスセンターへご相談ください。

FAV:NO MEMORY :
プリセットメモリーに登録されていません。（p28）

IN インジケーターが点滅 :
CDプレーヤーが正常に動作していません。
➡ ディスクを取り出してから、ディスクを入れなおしてください。

READING :
ディスクに収録されているデータのチェック中です。

NO ACCESS :
FAVORITEコントロールでプリセットした操作が出来なかった。（iPodの操作を設定をしてiPodを取り外したときなど）
➡ iPodを接続してからプリセットメモリーを呼び出してください。

NO DEVICE :
USBデバイスが接続されていないときにUSBソースが選択されました。
➡ USBデバイスを接続し、再びUSBソースにしてください。

N/A DEVICE :
- サポートされていないUSBデバイスが接続されました。
➡ リムーブモードにしないで取り外してください。サポートされているUSBデバイスについては「オーディオファイル」（p35）を参照してください。
- サポートされていないiPodが接続されました。
➡ 接続しているiPodが接続可能なiPodか確認してください。接続可能なiPodについては「オーディオファイル」（p35）を参照してください。

NO MUSIC DATA/E-15 :
接続されているUSBデバイスには、プレイできるフォーマットのオーディオファイルがありません。

USB ERROR :
接続されているUSBデバイスに不具合が発生した可能性があります。
➡ USBデバイスを取り外し、電源を入れなおしてください。再度同じ表示がされる場合は、他のUSBデバイスをお使いください。

iPod ERROR :
iPodとの接続に不具合が発生しています。
➡ iPodをiPod接続ケーブルから取り外し、接続しなおしてください。
➡ iPodのソフトウェアを最新のものにアップデートしてから接続してください。

USB REMOVE（点滅）:
USBデバイス/iPodがリムーブモードになっています。
USBデバイス/iPodが安全に取り外せます。

取り付け時のご注意

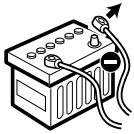
⚠警告

禁 止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品は DC12V⊖ アース車専用です。

実 施

配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実 施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

禁 止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

禁 止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

実 施

本製品を取り付けるときには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

禁 止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

禁 止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

実 施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

実 施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本製品ヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本製品との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。
車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

実 施

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。

注 意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。
火災の原因になります。

実 施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

注 意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

実 施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

注 意

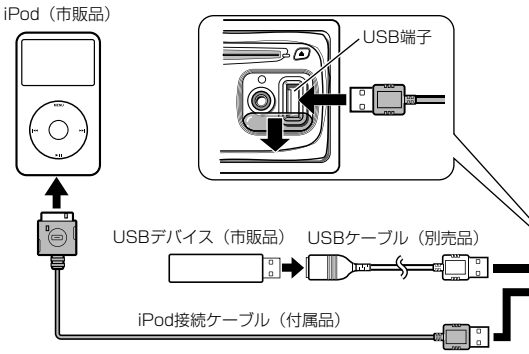
本製品を使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

接続

実施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの ⊖ 端子を外してください。

1. エンジンキーを抜き、バッテリーの ⊖ 端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの ⊖ 端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（p8）を押します。

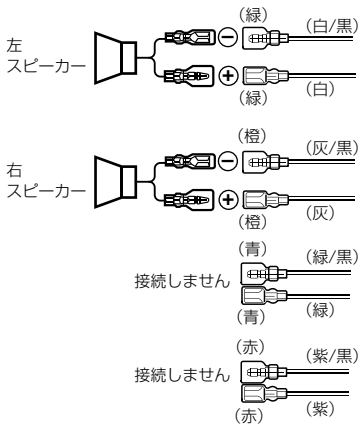


使用するUSBケーブルには CA-U1EX（別売品）をお薦めします。

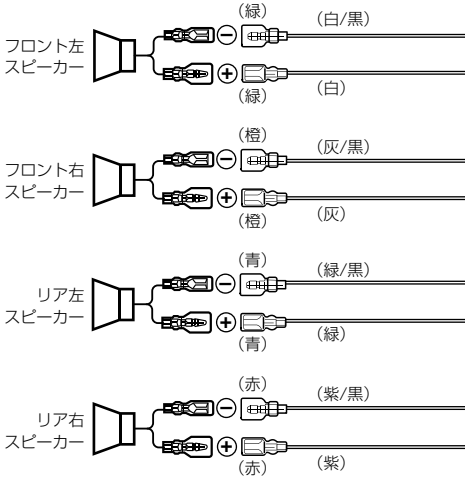
注意 ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

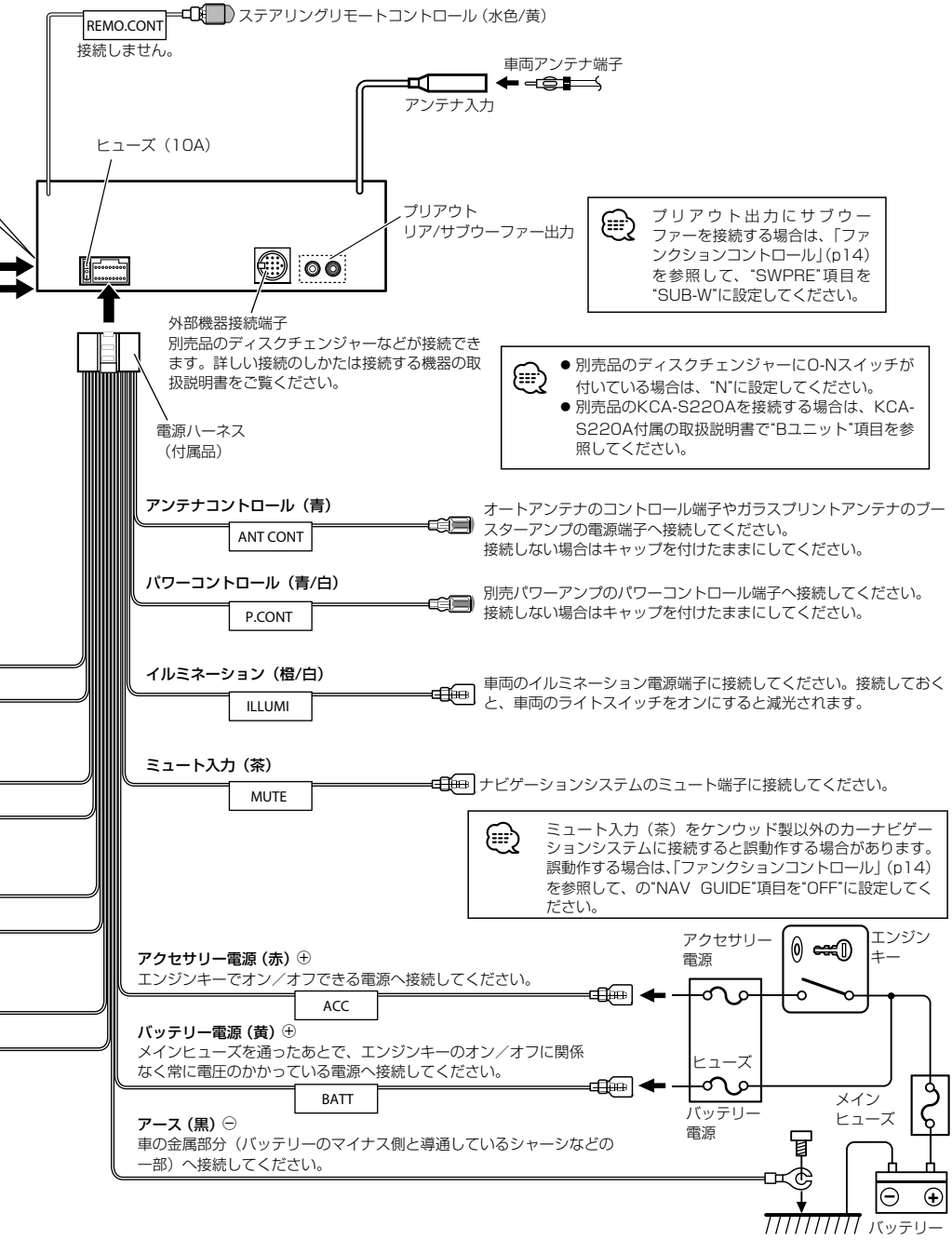
注意
- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



注意 接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。




REMO.CONT
ステアリングリモートコントロール（水色/黄）
接続しません。
車両アンテナ端子
アンテナ入力
ヒューズ（10A）
プリアウト
リア/サブウーファー出力
プリアウト出力にサブウーファーを接続する場合は、「ファンクションコントロール」(p14)を参照して、“SWPRE”項目を“SUB-W”に設定してください。
外部機器接続端子
別売品のディスクチェンジャーなどが接続できます。詳しい接続のしかたは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
電源ハーネス
（付属品）
● 別売品のディスクチェンジャーにO-Nスイッチが付いている場合は、“N”に設定してください。
● 別売品のKCA-S220Aを接続する場合は、KCA-S220A付属の取扱説明書で“Bユニット”項目を参照してください。
アンテナコントロール（青）
ANT CONT
オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
パワーコントロール（青/白）
P.CONT
別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
イルミネーション（橙/白）
ILLUMI
車両のイルミネーション電源端子に接続してください。接続しておくと、車両のライトスイッチをオンにすると減光されます。
ミュート入力（茶）
MUTE
ナビゲーションシステムのミュート端子に接続してください。
ミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「ファンクションコントロール」(p14)を参照して、の“NAV GUIDE”項目を“OFF”に設定してください。
アクセサリー電源（赤）⊕
エンジンキーでオン／オフできる電源へ接続してください。
ACC
バッテリー電源（黄）⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン／オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
BATT
アース（黒）⊖
車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。
アクセサリー電源
エンジンキー
ヒューズ
バッテリー電源
メインヒューズ
バッテリー

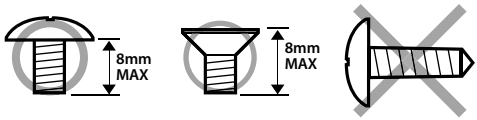
取り付け

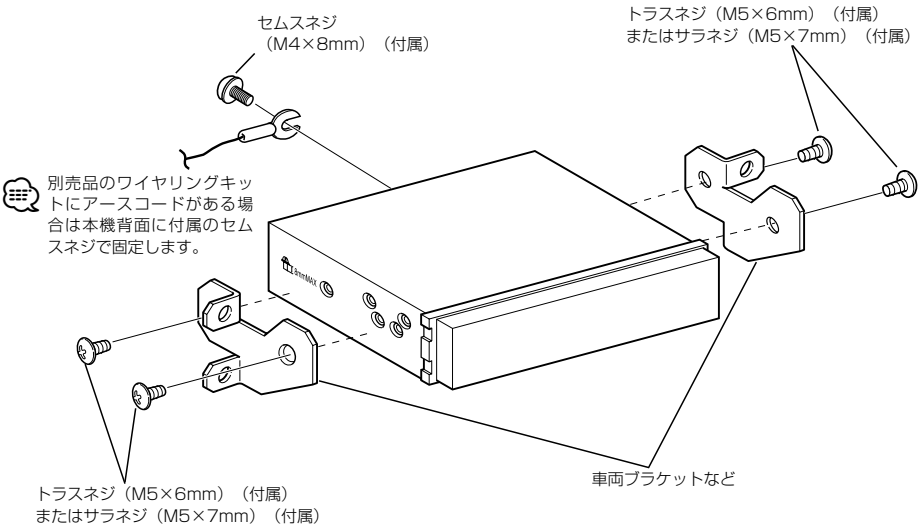
付属のトラスネジ（M5 × 6mm）またはサラネジ（M5 × 7mm）を 4 本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

付属ネジ	個数
トラスネジ (M5 × 6 mm)	4
サラネジ (M5 × 7 mm)	4
セムスネジ (M4 × 8 mm)	1

注 意

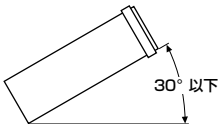
取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
なお、取り付けネジはトラスネジまたはサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。





注 意

- **本機の取り付け角度は 30˚ 以下になるように取り付けてください。30˚ 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。**
- **操作パネルを持って取り付け / 取り外しをしないでください。破損することがあります。**



- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）
：76.0 MHz ～ 90.0 MHz（100 kHz）
実用感度（S/N：30 dB）
：9.3 dBf（0.8 μV/75 Ω）
S/N 50 dB感度
：15.2 dBf（1.6 μV/75 Ω）
周波数特性（±3.0 dB）：30 Hz～15 kHz
S/N比：70 dB（MONO）
選択度（±400 kHz）：80 dB以上
ステレオセパレーション：40 dB（1 kHz）

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）
：522 kHz ～ 1629 kHz（9 kHz）
感度：28 dBμ（25 μV）

CDプレーヤー部

レーザーダイオード：GaAlAs
デジタルフィルター(D/A)
：8 倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター：24 Bit
回転数：500～200 rpm（線速度一定）
ワウ& フラッター：測定限界以下
周波数特性：20 Hz～20 kHz（±1 dB）
高調波歪率：0.01 %（1 kHz）
S/N比：110 dB（1 kHz）
ダイナミックレンジ：93 dB
MP3デコード：MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード：Windows Media Audio 準拠
AACデコード：AAC-LC形式 ".m4a" ファイル

USB I/F部

USB規格：USB 1.1/2.0（Full speed対応）
最大供給電流：500 mA
ファイルシステム：FAT16/32
MP3デコード：MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード：Windows Media Audio 準拠
AACデコード：AAC-LC形式 ".m4a" ファイル

オーディオ部

最大出力：50 W × 4
定格出力（4Ω、1kHz、10%THD以下）：30 W × 4
スピーカーインピーダンス：4～8 Ω
プリアウトレベル（CD）：2500 mV/10 kΩ
プリアウトインピーダンス：600 Ω 以下
オーディオコントロール
バス：100 Hz ± 8 dB
ミドル：1 kHz ± 8 dB
トレブル：10 kHz ± 8 dB

AUX入力

周波数特性：20 Hz～20 kHz（±1 dB）
入力最大電圧：1200 mV
入力インピーダンス：100 kΩ

電源部

電源電圧：14.4 V（11～16 V）
最大消費電流：10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）：178 × 50 × 160 mm
質量（重さ）：1.2 kg

付属部品

電源ハーネス：1本
iPod接続ケーブル（1.5 m）：1本
リモコン：1個
乾電池（単3型）：2本
トラスネジ（M5 × 6 mm）：4本
サラネジ（M5 × 7 mm）：4本
セムスネジ（M4 × 8 mm）：1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

保証について

● **保証書**

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● **保証期間**

お買上げの日より 1 年です。

修理を依頼されるときは

「Help? 故障かな？と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● **保証期間中は ...**

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間経過後は ...**

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● **持込修理**

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
（本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● **修理料金のしくみ**（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- **技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。**
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- **部品代：修理に使用した部品代です。**
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〒 007-0834	札幌市東区北34条東14丁目1-23	☎ (011) 743-7740

東北			
仙台サービスセンター	〒 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町8-1 (斎喜センタービル1F)	☎ (022) 288-3538

関東・信越			
さいたまサービスセンター	〒 330-0801	さいたま市大宮区土手町1-2 (JA共済埼玉ビル1F)	☎ (048) 647-6818
千葉サービスセンター	〒 277-0081	柏市富里1-2-1	☎ (04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〒 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
新潟サービスセンター	〒 950-0923	新潟市中央区姥ヶ山1-5-37	☎ (025) 287-7736
目黒サービスセンター	〒 153-0042	目黒区青葉台3-17-9	

(修理持込専用窓口)　電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンター(裏表紙をご覧ください) にて承ります。

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〒 462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎ (052) 917-2550
静岡サービスセンター	〒 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒 920-0036	金沢市元菊町21-87	☎ (076) 265-5045

近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒 532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8075
高松サービスセンター	〒 760-0068	高松市松島町3-1	☎ (087) 835-2413

中国			
広島サービスセンター	〒 731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎ (082) 832-2210

九州			
福岡サービスセンター	〒 815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎ (092) 551-9755
鹿児島サービスセンター	〒 890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10 (パレス鴨池1F)	☎ (099) 251-6347
沖縄サービスセンター	〒 901-2101	浦添市西原4-36-17 (（株）物琉2F)	☎ (098) 874-9010

■ サービスセンターの営業時間のご案内
受付時間　10:00～18:00 (土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒 192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

● 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル　0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133
FAX　045-933-5553
住所　〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00
土曜　9:30～12:00、13:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

● 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。